



卓越した実践力を備え、 看護の変革を牽引する 高度実践看護者を 養成する

実績のあるCNSの養成に加えて 新たに看護教育者・看護管理実践者の養成を開始

大阪府立大学大学院では、1998年から看護学研 究科博士前期課程でCNSを育成してきました。9分野 のCNSコースを開設していることから院生および修了 生同士のつながりの輪も大きく、課程修了後も互いに 横断的な連携がとれることも大きな強みとなっていま す。大阪公立大学大学院看護学研究科においても CNS教育を継続するとともに看護教育者・看護管理 実践者の育成も開始します。

■本大学院で高度実践看護者を養成している看護学分野

療養支援 看護科学分野	がん看護専門看護師急性・重症患者看護専門看護師慢性疾患看護専門看護師感染症看護専門看護師	がん看護学 急性看護学 慢性看護学 感染看護学
生活支援 看護科学分野	●在宅看護専門看護師●精神看護専門看護師●老人看護専門看護師	在宅看護学 精神看護学 老年看護学
家族支援 看護科学分野	●小児看護専門看護師 ●家族支援専門看護師	小児看護学 家族看護学
基礎看護科学分野	●看護教育者 ●看護管理実践者	看護教育学 看護管理学

専門知識と卓越した実践力を 獲得するためのカリキュラム

本コースは『共通教育科目』『専門基礎科目』『専門科目』で 構成されています。『共通教育科目』は研究公正、Academic Writingなど、『専門基礎科目』は看護学研究法、理論看護学、 看護倫理学、コンサルテーション論などの科目からなります。

専攻分野の『専門科目』の特論科目、演習科目で基礎的知識 を深め、実習科目では卓越した実践力、課題研究では課題解 決につながる研究力を養成するカリキュラムとなっています。

・取得学位・資格

修士(看護学)

専門看護師認定審査受験資格※

※ただし、専門看護分野における一定の実務経験が必要です。

大学院修了生へのCNS取得に向けた 行き届いたサポート体制

大学院修了後も、各分野で大学院生および修了生が集まり 定期的に事例検討会や交流会を開いています。この事例検討 会等は、CNSの活動について検討したり、最新情報の交換など を行っています。また、大学院修了生にとっては教員や先輩 CNSからピアサポートを得る場ともなっています。





専門看護師(CNS)とは

CNS: Certified Nurse Specialist

個人・家族および 集団に対して 卓越した看護を 実践する

究

専門知識および技術の向上 ならびに開発をはかるために 実践の場における 研究活動を行う

看護職に対し

ケアを向上させるため

教育的機能を果たす

相 談

看護職を含む ケア提供者に対し コンサルテーション を行う

専門看護師の 6つの役割

倫理調整

必要なケアが円滑に行われる ために、保健医療福祉に 携わる人々の間の コーディネーション を行う

調

整

個人・家族および 集団の権利を守るために、 倫理的な問題や葛藤の 解決をはかる

求められる高水準の看護ケアを効率よく提供するために

専門看護師(CNS)とは看護系大学院を修了し、日本看護協会が規定する専門看護師認定試験に合格した、特 定の専門分野において卓越した看護実践能力と経験を有する看護師のことをいいます。

CNSが目的としているのは、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族および集団に対して、水準の高い看 護ケアを効率よく提供するために、特定の専門看護分野の知識および技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し、 あわせて看護学の向上を図ることです。

看護教育者とは

看護教育者とは、看護基礎教育および継続教育にお いて看護専門職の育成や発達に携わる看護職のこと をいいます。

看護教育者養成の目的は、看護教育学において必 要となる専門的な理論と実践能力を基盤に、高度な教 育・研究能力を保持し、グローバルな視座を有する教 育者を育成することです。修了後は、看護師学校養成所 の専任教員、新人看護職員臨床研修における実地指 導者および教育担当者等として看護学教育の発展に 貢献することが期待されます。

看護管理実践者とは

実践看護研究コース(看護管理学)で育成する看護 管理実践者とは、外的環境の変化とヘルスケア組織の 多様化に伴い、組織の持続性を踏まえた戦略的思考を 身につけ、リーダーシップを発揮し、イノベーションを 促進できる能力を培い、実践の場で活躍することを期 待される者です。本コースを修了すると、日本看護協会 が認定する認定看護管理者(Certified Administrator) 認定審査受験の資格を有することが できます。認定看護管理者となったのちにも本コースで 看護管理について深く学ぶ機会とすることもできます。

※新大学の組織・カリキュラム・取得可能な免許・資格等は設置認可申請中のため予定であり、今後変更の可能性があります。

教員メッセージ



看護界に変革をもたらす 実践者・管理者・教育者を 目指しましょう

看護はアート(Art)であり実践の科学(Science)であるといわれていま す。看護師はひとりひとりに適した創造的なケアを提供するために豊かな 人間性を培い、全体論的視点から看護者と看護の受け手との相互のかか わりをもちます。そして看護実践における根拠をもとに、的確な技術を提供 します。このようなアートとサイエンスとしての看護を具現化する存在とし て、専門看護師(Certified Nurse Specialist:CNS)があります。CNSは、複 雑で解決困難な問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看 護ケアを効率よく提供し、保健医療福祉の発展に貢献するとともに、看護 学の向上に寄与できる看護師です。また、多様なヘルスケアニーズを持つ 個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供 するために、看護管理者の存在も欠かせません。看護管理者は、組織の課 題を明らかにし、組織内の様々な部署や人に働きかけて、組織全体のサー ビス提供体制の向上に取り組むとともに地域の組織間の連携を図るなど、 リーダーシップを発揮して地域全体の医療・看護の質の向上に努めます。 さらに、アートとサイエンスとしての看護を看護基礎教育及び継続教育の 側面から支える看護教育者は、専門的な理論と実践能力を基盤として、看 護専門職の育成・発達や看護学教育の発展に貢献できる存在です。

看護職は知的専門職ともいわれます。それには、使命感と高度な学問的 基盤、豊かな教養をもち、生涯にわたって学び続ける存在であり、長い教育 期間が必要とされ、公的なライセンスをもとに公益的サービスを提供する ことが備えるべき条件とされています。

大阪公立大学大学院看護学研究科は、知的専門職としてのCNSをはじ め看護管理者、看護教育者の養成に力を注いで参ります。CNSとして各専 門看護分野の知識と技術を深めるために、看護実践に関わる理論・概念 やエビデンスについて学び、それらを適用して卓越した看護実践が行える ように、講義・演習・実習を順序立てて配置しています。また組織の視点か ら戦略的に思考できる能力や、組織の変革を促進できる能力、高度な教 育・研究能力を身につけるための科目を配置しています。教師陣には多く のCNS資格取得者や、看護管理・看護教育のエキスパートがおり、知的専 門職者としての役割モデルを示しながら教育に携わっています。

また本大学院看護学研究科では、日本で最多の専門看護分野の教育 課程を備えています。在学生は様々な専門看護分野の仲間達との「横の つながり」を通して多くの見識を積み、修了後には先輩CNSとの「縦のつな がり」を通してネットワークでつながっていくことができます。これらのつな がりを基に互いに連携しながら、施設全体や地域の看護実践・管理・教育 現場の質向上を目指して、看護界に変革をもたらすことのできる専門職を 目指しましょう。

研究科長

田中京子

大阪公立大学看護学部 • 大学院看護学研究科教授 博士(看護学) 看護学部、大学院博士前期課程・後期課程で講義、演習、実習を担当



急性·重症患者看護CNS

療養支援看護学領域 急性看護学分野 教授

北村 愛子

大阪府立大学大学院博士前期課程修了後、 りんくう総合医療センター勤務。2005年急 性・重症患者看護CNS取得、クリティカルケ ア看護領域で勤務し2015年より現職。

看護実践の科学的根拠と 感性の大切さを伝える意味

専門看護師は高度実践を行うとともに、人の人生に関わる重責を負う 仕事だと感じています。とある患者さまが、「病気にはなったけど、人にお 世話になることで、私が人間でいられる自分に気づいたの」とおっしゃっ たことがありました。本当に意味深い表現だと感じます。自分が重篤で動 けなくても、看護師が自分を丁寧に観てくれる、その瞬間、安心して自分 で息ができている感じと言い換えて表現されました。この意味の深さを 伝えるために、学問上、多くの概念を用います。看護学について、人が人 に伝える意味は、人からしか学べないことがあるということを中心に据え て、専門看護師を育成したいと思います。

感性と科学的根拠をもとに実践することの素晴らしさを伝え、看護が 実践の科学で、また創造的なものであることも伝えながら、大学院生の 方々と共に成長したいと思います。



精神看護CNS

牛活支援看護学領域 精神看護学分野 教授

富川 順子

兵庫県立大学大学院看護学研究科修了、高 知県立大学健康生活科学研究科 (博士後期 課程) 修了。2017年より現職。公益財団法人 洋香山病院にて精神看護専門看護師事務。

精神疾患を持つ人のリカバリーを 一緒に歩む専門看護師の育成を目指して

当事者の方の地域生活と入院生活を支えるために必要な、精神 科看護に関係する理論と、精神医学に関する知識に加え、傾聴や対 話の技法・集団精神療法などを用いた看護ケアについて学び、その 方と一緒に歩むための精神科の看護過程を展開できる能力を身に つける教育を通して、精神疾患を持つ人のリカバリーを一緒に歩む ことができる専門看護師の育成を目指しています。一人の人間とし て当事者の方と関係を持つために、自律的思考を持ち、自分の人間 としてのあり方を考え、人間的に成長したと思える学びの時を持っ ていただきたいと思っています。

また、精神看護の専門職としての姿勢を学び、科学的思考を深め て看護研究を行っていけるように学生さんを支援したいと考えてい



地域看護CNS

生活支援看護学領域 在宅看護学分野 教授

恭子

2004年大阪府立看護大学大学院博士前期 課程在宅看護学専攻CNSコース修了。2005 年に地域看護専門看護師の認定を受け、訪 問看護、退院支援、まちづくりの場で活動。

地域共生社会で活躍する 専門看護師の育成にむけて

人口構造や疾病状況が変化するなか、医療は病院中心の「生かし、治 す」役割から、地域社会とともに「生活を支える」役割へと変化していま す。健康を支える医療活動は生活の場で行われるようになり、専門職主 体から多職種や住民とのネットワークへと移行してきました。看護職が 発揮すべき専門性や求められる役割・機能も拡大しており、なかでも在 宅看護分野は、訪問看護にとどまらず、外来における生活管理やコミュ ニティヘルスケアを含有し、ますます重要性を増しています。

CNS教育においても、地域住民のQOL向上と地域共生社会の実現に 向けたヘルスケアシステム構築ができる人材育成が急務です。個人の健 康から地域社会全体の健康を見る視点を持ち、高度な看護実践を行う とともに、組織の変革のみならず地域のネットワーク構築や新しい資源 の創出ができるCNS育成に取り組みたいと思います。



小児看護CNS

家族支援看護学領域 小児看護学分野 准教授

長田 暁子

2000年に日本赤十字看護大学大学院・看護 学研究科修士課程を修了し、2002年に小児 看護専門看護師の資格取得。小児・周産期・ 管理部門での勤務を経て、2017年より現職。

子どもと家族の幸せを支える 高度実践看護師を目指して

小児看護CNSには、あらゆる健康レベルの子どもが健やかに成長・発 達してゆけるように、地域社会の機関や支援者と協働して「子どもの最高 の幸せ」を一番に考えた看護を提供すること、そして、子どもと家族が健 康で幸せな生活を送るためのケアシステムを整えることが求められます。

小児看護の対象は、胎児~成人になるまで幅が広く、健康障害の内容 も多岐に渡りますが、常に成長・発達している子どもと家族の特徴を理 解して、生活に応じたヘルスケアを支援する視点は共通していると思い ます。小児医療や小児看護の課題を見つめ直し、その解決に必要な知 識・スキル・倫理を再認識する経験は、他分野・他職種の人々と協働する ための基盤になります。自分自身も、これまでの常識や価値観を超えて、 常により良いケアを追求する姿勢を持ちながらCNS教育に携わりたい と思っています。

その他CNS教員

- 岡野 明美(地域看護CNS)
- 徳岡 良恵(がん看護CNS)
- 井上 敦子(家族支援CNS)
- 中村 雅美(慢性疾患看護CNS)
- 喜田 雅彦 (感染症看護CNS)
- 柱谷 久美子 (精神看護CNS)

修了生へのインタビュー



地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター

藤原 真弓さん

救急看護認定看護師として勤務したあと、本 大学院へ。大学院博士前期課程 家族支援看 護学領域 家族看護学分野CNSコース平成24 年度修了。家族支援CNS 平成25年度取得。

家族の力を信じ、その力を発揮できるようにサポートする 家族としての意思決定を支援

CNSを目指そうと思ったきっかけは?

救急の場で働く中で、家族に目を向けるよう努 力はしていましたが、十分じゃないというジレン マを感じていました。

関心のあった家族看護を大学院で学べること を知って、もう一度学び直したいと思ったのが動 機です。

仕事のやりがいや喜びを感じるのは?

色々な患者さんと接していると家族の弱い部 分だけでなく、家族の強みというか家族の持って いる力が見えてくることがあります。私が手とり足 とり何かをしなくても、家族の持っている力をうま く発揮出来るように少し支援すること、ただそれだ けで家族が自分達の力で問題を乗り越えられた なぁと感じられた時に、私の役割を感じられます。



原田 かおるさん

高槻赤十字訪問看護ステーション

日本赤十字社

看護師として十数年間勤務した後、休職して 本大学院へ。大学院博士前期課程 生活支援 看護学領域 老年看護学分野CNSコース平成 24年度修了、高槻赤十字病院復職。老人看護 CNS 平成25年度取得。

全ての行動と意味を考え、言葉に起こして意図的に ケアすることの大切さ。「見方が変わればケアが変わる」

CNSを目指そうと思ったきっかけは?

退院調整看護師として高齢者の退院支援をす る中で、厳しい現状での療養場所の選択など、「ど う考えればいいんだろう」と、あるとき私自身わか らなくなることがありました。ふと、考えると「私、高 齢者の看護をあまりよくわかっていないのかもし れない」という考えに行き着いて、もう一度高齢者 の看護をきちんと学びたいと思ったことがきっか けです。

一番の学びは?

自分がやっている看護やケアなどについて深く 考えて、それを言葉にしていくということに尽きた ように思います。CNS実習でケアをさせていただ く際、経験値から思わず手が出るんですが、指導 教員とのやりとりで「出した手の意味は?」「手を出 さなかった理由は?」と、繰り返し問われました。 待つことや声をかける、手を触れるなど、全ての 行動の意味を考え言葉に起こして、意図的にケア をするということを再認識しました。



がん看護CNS

大阪府立大学 地域保健学域 看護学類

良恵さん

大学院博士前期課程 療養支援看護学領域 がん 看護学分野CNSコース平成17年度修了。がん看 護CNS 平成19年度取得。

多様な価値観を理解し尊重し合う大切さに気づき 患者さんにもっと寄り添える看護師に

CNSを目指そうと思ったきっかけは?

がんの進行に伴い、様々な症状による強い苦 痛や死に直面することによる心理的苦痛を抱える 患者さんの苦痛を緩和するために、症状緩和の 知識をもつだけではなく、がん看護について深く 学ぶことで、もっとできることが増えるのではない かと考えたのが動機です。

(大学院の魅力は?

様々な背景を持ち、それぞれの専門性を追求 する大学院生と授業でディスカッションすること は、多様な価値観を理解し尊重し合う大切さに気 づかせてくれました。先生方は、理論や概念を理 解し実践に落とし込み、言語化できるまで根気強 く指導してくださり、CNSとして活動する上での基 礎を築くことができたと感じています。



公益財団法人 日本生命済生会日本生命病院

大野 典子さん

看護師として勤務した後、休職し本大学院へ。大 学院博士前期課程 春春支援看護学領域 咸染看 護学分野CNSコース平成18年度修了。日生病院 に復職し、感染症看護CNSを平成21年度取得。

迅速な対応でスペシャリストとして 感染症の問題を解決に導く

CNSを目指そうと思ったきっかけは?

感染管理を行う中で、患者さんが望む看護がで きているのか、看護師として感染対策を充実させ るにはどうすればよいかなど、もやもや感がありま した。それと、独学で勉強した研究法には限界が あったためです。感染対策のエビデンスになるガ イドラインを読むにも研究の知識が必要でした。 専門看護師を目指すというより、自分自身のもや もや感と研究法を基礎から学びたいと思ったの が動機です。

(仕事のやりがいや喜びを感じるのは?

1人の患者さんと向き合いきちんと看ていたら 全体の感染対策ができるのかなと最近思うように なりました。個が集まって集団になるためです。私 たちは患者さんとともに職員も守らないといけま せん。職員が自らの安全を守るために実践するこ とが患者さんの安全につながっていくことを伝え ていきたいです。感染管理は医療の基礎だと思い ます。基礎として医療者全員、感染管理ができて いる世の中になればいいなと感じています。

慢性疾患看護CNS

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター 呼吸療法認定十

竹川 幸惠さん

大学院博士前期課程 療養支援看護学領域 慢性看護学分野修十論文コース平成14年度修 了。その後CNSコースの所定単位を履修し、慢 性疾患看護CNS 平成18年度取得。

慢性疾患看護は患者の深い苦悩にまで 想いを至らせることが基本

○ CNSを目指そうと思ったきっかけは?

最初は、看護の質の向上のためには看護研究 が大切だと思ったので修士論文コースを取りまし た。大学院修了後も、呼吸器看護をずっと続けて いきたいという気持ちが強かったので、ケアの質 を高めるために、また、多くの患者さんから学ばせ てもらったことや、大学院でのいろいろな気づき を実践に活かすために、CNSコースの所定単位 を取得しました。

○ 大学院の講義の魅力は?

各分野の第一線で活躍されている教授の方々 だったので、すごく深い講義を受けながら、貴重 なアドバイスを受けられることですね。プレゼン の前は教授との面談があるのですが、個々の成長 のために厳しく指導していただいたおかげで、ま とめる能力が鍛えられたと思います。



大阪公立大学顺动大学院看護学研究科

博士前期課程 ※2022年4月開学予定(設置認可申請中)

[羽曳野キャンパス]※2024年まで実践看護研究コースの教育は羽曳野キャンパスで行います。

〒583-8555

羽曳野市はびきの3丁目7番30号

Tel:072-950-2111(代)



- ●バス停「大阪府立大学羽曳野キャンパス」または「府立医療センター」下車徒歩約10分